

電動キックボード5台寄贈

豊橋市へ マルシメ 次世代モビリティ 普及促進

石油製品販売業「マルシメ」は2日、豊橋市に電動キックボード5台を贈った。市役所で大熊康文社長が浅井由崇市長に目録を手渡し、車両を披露した。

同社は昨年、次世代モビリティ事業を立ち上げるなど、石油以外のエネルギー多様化への対応を進めている。電動キックボードの販売事業を手掛け、将来的にはレンタ

ルなどシェアリングなども進めるといふ。

市には2種類の電動キックボード5台（60万円相当）を贈った。サドル付きが2台、バッテリーを取り外せるタイプが3台。特定小型原付自転車、16歳以上なら免許なしで公道を走れる。折り畳み式で車での持ち運びも可。

サドル付きタイプは家庭用の100W電源で充

電可能。バッテリーを外せる車両はより軽量で持ち運びやすい。

車両は豊橋総合動植物公園のほか、まちなか活性課、「スポーツのまち」づくり課の各部署で職員が移動手段に使う。特にスポーツ大会では広い会場を行き来する運営スタ

市に電動キックボードを贈ったマルシメの大熊社長（左）市役所で



ツフによる活用が期待される。
大熊社長は「次世代モビリティの普及促進の

ほか、必要な道路整備や渋滞緩和などの施策にも生かしてほしい」と期待した。
【加藤広宣】